

第2回 豊中市学校運営協議会 議事概要

1. 日 時 令和5年(2023年)11月15日(水) 18:30~19:50
2. 場 所 豊中市立第十五中学校 多目的教室
3. 出席者 委員 10名 事務局 校長、教頭
4. 次 第 (1) 会長あいさつ
(2) 全国学力・学習調査とWAKUWAKUプランについて
(3) 今年度の学校行事&イチゴフェスタ、学校の様子
(4) ビオトープの取り組みと維持体制について
(5) その他(今後の日程)

【議事概要】

案件1 全国学力・学習調査とWAKUWAKUプランについて

～全国学力・学習調査とWAKUWAKUプランについて、事務局より説明を行った。～

- ・全国学力学習調査が4月に行われ、テストの内容の紹介と本校生徒の状況
- ・生活状況アンケートでは、授業でのタブレット使用についての項目があり、本校の数値が全国平均や大阪の平均より低かったため、10月より毎日タブレットを持ち帰り、宿題を出すなど活用を進めている。

委員・・・成績は平均を上回っているため、タブレット使用率が低いことをそれほど問題視する必要はないのではないか。

事務局・・・ただこの道具を使うことだけを重視するのではなく、これまでの授業改善の取り組みを踏まえて進めていく。ただ使わなければならない行政の仕組みや、子どもの情報活用能力育成の面から活用の推進は必要と考えている。

11月29日には、タブレットを積極的に利用した授業も豊中市の学校の教職員向けに公開していき、研究を進めている。

- ・WAKUWAKUプランで、親子で英検・漢検を受験しようという企画をたて、9月に英検43人、10月に漢検14人が受験をした。1月に再度実施する予定である。
- ・教室には、少しでも興味を持ってもらうために各級の問題集を置いている。

委員・・・勉強の仕方が分からなかった我が子が漢検をきっかけに勉強するようになったので良い取り組みだと思う。

案件2 今年度の学校行事&イチゴフェスタ、学校の様子について

今年度の学校行事(修学旅行、校外学習等の学年ごとの行事、体育大会、進路に関する行事や総合的な学習の時間の取り組み等をスライドで紹介。また校内の様子を紹介。落書き等、生徒の問題行動も若干見受けられる。

特に質疑はなし。

案件3 ビオトープの維持管理について

「緑のトラスト協会」の助成を受け、委員の紹介によりビオトープ管理士の方に来ていただいた。「十五中のビオトープは素晴らしい」とおっしゃっていただき、絶滅危惧種がいることなどが分かった。今後、熊野田の昔の姿を取り戻すために、生徒会や地域の方の協力を得て維持していきたい。今後も、ビオトープ管理士に2回来ていただき1年間の流れの教えていただく予定をしている。

案件4 その他

事務局より、次回以降の開催日程（予定）についての連絡を行った。

第3回 : 2月16日(金) 18:30

(主な意見)

- パソコンを使っていない＝成績に繋がらないではない。多様性を尊重すべき時代なので同調圧力に屈してはいけないとも感じている。
- お父ちゃんの餅つきの会の復活を望んでいる。
- 自分自身も通信でライセンスを取ったことがあるので、漢検などの取り組みは勉強の動機付けになってよいと思う。
- イチゴフェスタの規模の大きさに感動した。ステージ発表を見ている人たちとの関係がとてもよかった。ダンスをしている男子生徒が誇らしげであったし、心から応援する姿が微笑ましかった。続けるのは大変だと思うが今後も続けていってほしい。
- ビオトープを護る会では、学校と協力しながら動いていくが、団体設立の事務手続きもいろいろ必要なので、まだ時間がかかる。
- ICTを使わない＝スキルが低いというわけではない。子供たちは使えている。
- イチゴフェスタはすごい人だった。今後も継続していきたい。
- むらたけ会がタイムカプセルの時に植える花の苗を、ビオトープにも寄付していきたい。
- タブレットを上手に使うには、先生たちが上手に使う手段を示して授業で使えば自然に使いだすと思う。
- 学力調査のテストの内容が、自分たちのころとかなり違うので親への発信、こんな問題が出ているという勉強会があってもよいと思う。
- 今年度はイチゴフェスタの委員の方がよく動いてくれた。次年度はどのような委員の方になるかわからないので、その年度の係りの方のフェスタのやり方になればよいと思う。